

# 四季の歌

心映の投句  
俳句・短歌教室の詠歌紹介

おだやかに差す日を浴みて庭に立つこぼれ初めたる白梅の下  
鶯の初音聞きつつ朝の庭あかき椿を一枝手折り  
朝採りの野菜に混じるいぬふぐり夫の菜園に春はいぶきぬ  
ふるさとの友のぬくもり噛みしめて給わりし山の幸をいただく  
父の葬り終りて礼を言ひし子の姿かたちは故人と紛ふ

佐竹喜久雄  
加治 智子  
三村 和子  
白石 信子  
福田 昌

はな・ほのぼのの句会

池田一步選

今年又雛を飾りて思ひ出を  
拳式へと向ふ高速風光る  
大輪の紅白椿寄り添ふて  
宝満の名に相応しき梅日和  
固まりて香りを広げ黄水仙  
黄水仙匂ひを風の伝え来る  
雑談の楽しき時間花ぐもり  
ようやくに春を迎へて安らぎを  
雛祭介護の人等楽しませ  
春風や道々に会ふ人親し  
浜宿の大蛤の膳にかな

柴田ヒサエ  
熊谷カツミ  
本島真知子  
桑野 園女  
井上タミ子  
中西ナルエ  
永末 公恵  
宇野美奈子  
大堀まさゑ  
持丸テル子  
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

婚約の使者のごとくに春告鳥  
ささらぎの昼を灯して資料館  
落ちてなほ紅濃き椿忌を修す  
愛らしや春告鳥の下手な声  
龍の字と竜の字競ふいかのぼり  
数珠掛けし水子数多や冴返る  
春光や島から島へ遊覧船  
水温む米研ぐ音も弾みけり  
白梅の雨も神慮と思ひけり  
天領の歴史にまみれ雛の顔

建部三由紀  
日比生利子  
松岡 萬枝  
小川 雪  
長副美恵子  
迫田 昌子  
今井三千代  
家高 恭子  
山口みち子  
花石かほる

方城句会

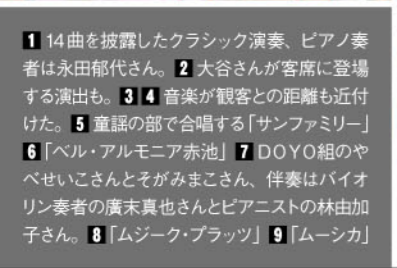
池田一步選

朝日差す頬が感じて寒明ける  
道成寺舞ふ指先の春のかけ  
黄をつなぎ風をつなぎて花菜かな  
巴なす瑠璃の如百千鳥  
目を凝らし初音の辺り術後の目  
とりどりの椿落ちたる箒の目  
出航の汽笛のひびき春の潮  
雪煙家並を駈けて闇に舞ふ  
集ひ来て逝きし姉との別れ菊  
風道を逸れし日溜り野梅咲く

杉 フジエ  
長尾 冴子  
野村 鈴子  
藤井耿之介  
渡邊 一枝  
朝部さよ子  
尾崎 和子  
木村 誠一  
倉石嘉代子  
白石 凡子

## 福智の風

▶多くのかたのおかげで「ふくち」は、全国広報コンクールに3年連続県代表として推薦されました。しかしいくら外部で評価されても、一番の読者である住民のみなさんに必要とされなければ、自己満足でしかありません▶ただお知らせするだけでなく、住民の意識や行動にどれだけ結びつけることができるか…これは非常に難しい課題で、いつも後悔と反省の繰り返しです▶今回、過去の広報紙を振り返ってみましたが、歴代担当者もやはり真っ白な紙面を前に、同じように悩んできた様子が伝わってきました。またそうして懸命に綴られた思いは、人の心を打つのだということも実感しました▶読者あってこそこの広報紙。今後も厳しくかつあたたかく見守ってください。(日吉)



## Pickup Topics

### 第3回 福智町音楽祭

主催/福智町・福智町教育委員会

# 共鳴の空間 心一つに



町出身の童謡作曲家・河村光陽の名曲「うれしいひなまつり」のフレーズが流れだすこの季節…町を代表する音楽の祭典「福智町音楽祭」で「クラシック」と「童謡」の2部門のコンサートが、2日間にわたって開催されました。

重厚な「クラシック」で2月27日に幕開けした福智町音楽祭。東京交響楽団コンサートマスターの大谷康子さん、NHK交響楽団首席チェロ奏者の木越洋さんという日本のトップメンバーが、地域交流センターのステージに立ちました。「感動の共有が一体感を生み、心をつなぐ」。音楽にはそういう力がある」と語った大谷さん。その言葉どおり、表現豊かに奏でられる名曲の数々に、250人の観客が心を共鳴させました。

2日目の2月28日は、同対策研修センターで開催された「童謡」の一大ステージ。町文化連盟の4団体が、心と歌声を調和させた見事なハーモニーを披露した後、色とりどりの風船で飾られた舞台上に、DOYO組が登場しました。

静かでしたとりの懐かしい曲や賑やかな海外の童謡など、バラエティーに富んだ17曲を心を込めて歌い上げた2人。子どもたちと一緒にステージで踊ったり、会場と輪唱したり、客席で一緒に歌う場面もあり、親子連れなど250人が参加したホールが一体となった夢のようなコンサートを実現させました。



童謡を全世界に広げるため2004年に結成されたDOYO組。長年、童謡の町づくりを進めてきた福智町のステージで、出演者全員と河村光陽作曲の「かもめの水兵さん」を合唱し、音楽祭のラストを飾った。